

津田沼高校GP ～未来を生き抜くために～



GPとは、グラデュエーションポリシー

(卒業までに身に付ける力＝卒業生が備えておくべき資質)

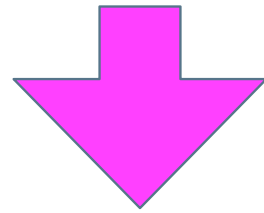
千葉県立津田沼高等学校

本校の学校教育目標（重点目標）

- (1)生徒が主体的に学ぼうとする授業づくり
- (2)活力と節度があり、母校に誇りを持てる生徒の育成
- (3)目標達成に向けて主体的に進路を考え学ぶ生徒の育成
- (4)学校の情報発信と地域交流を深める取組の推進
- (5)生徒が健康で安全に学べる教育環境の整備

これからの教育に必要なこと

育成すべき生徒の資質・能力を明確化した
教育目標と具体的な教育活動の意識



《基本理念》

すべては生徒の「自己肯定感」の向上のために！

自己肯定感を高めて、自主的な行動を促す

自己肯定感を高めるために

内面的アプローチ

日々の学校生活を通じて、喜びや楽しさ、感謝の気持ちを育てるような場面をつくる

外面的アプローチ

目標達成に向けて頑張った生徒を、ほめて伸ばすことを意識する

達成感・満足感・幸福感

自己肯定感（自信）

津田沼高校の教育の指標（GP）

～「自己肯定感」の向上を目指して～

以上の目標を達成するために本校の3年間で、
次の力を身に付けることを目標とする。

- ① 傾聴力
- ② 想像力
- ③ 思考・判断力
- ④ 情報収集力
- ⑤ 分析力
- ⑥ 発信力
- ⑦ 企画・実践力
- ⑧ 創造力

この8つに、すべての活動を繋げていく

8つの“力”

<p>①傾聴力</p>	<p>人の話に耳を傾け、正確に聴き取り理解しようとする力</p>
<p>②想像力</p>	<p>人の気持ちを思いやったり、自分の言動が人にどのような影響を与えるかを察したりする力</p>
<p>③思考・判断力</p>	<p>自分で考え、正しい道や方法を見つけたり選んだりする力</p>
<p>④情報収集力</p>	<p>進んで様々な情報を集めたり、たくさんの情報の中から自分に必要なものを選んだりする力</p>

8つの“力”

<p>⑤分析力</p>	<p>事実について色々な角度から見て、なぜそうなっているのか追究しようとする力</p>
<p>⑥発信力</p>	<p>自分の考えを積極的に人に伝え、理解してもらおうとする力</p>
<p>⑦企画・実践力</p>	<p>課題解決に向けて新しい方法を考えたり、まわりに協力してもらいながら活動したりする力</p>
<p>⑧創造力</p>	<p>自分の個性を生かしながら、価値のあるものを生み出す力</p>

津田沼高校GP

具体的な浸透方法は、どうするのか？

教科担当として

- ①板書のノートとりだけに集中させない
- ②生徒が主体的、対話的で深い学びができるような授業展開を意識する
(「記述する」「発表する」「教え合う」などの時間をつくる)
- ③生徒が学びを振り返る時間を増やす

津田沼高校GP

具体的な浸透方法は、どうするのか？

学級担任として

- ①自主的に高校生活に取り組むことを生徒に考えさせる
- ②LHRや総合的な探求の時間で話し合いの活動を充実させる
- ③清掃や教室の整備をみんなで取り組ませる
- ④多様性の意識と様々な考えを共有することを大切にさせる
- ⑤基本的な生活習慣や社会生活におけるマナーを身に付ける指導をする

津田沼高校GP

具体的な浸透方法は、どうするのか？

分掌の主任として

- ①生徒が取り組む行事等で評価と改善を常に考えていく
- ②分掌内での報告・連絡・相談を密にしていく
- ③生徒の読書力を向上させ情報収集能力を向上させる
- ④中学生に選んでもらえる学校づくりを考える
- ⑤企画委員会で生徒の「自己肯定感」の向上のための取組を考える（学校・学年行事の改善、生徒会活動の活性化など）

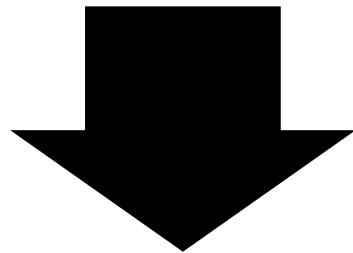
津田沼高校GPを日常の教育活動の中で生徒に 意識させていくことが大切

考えていれば解けなくても良いのか？ **No!** それで妥協してはダメです。

「解けた」ことより

「どのように解こうとしたか」は大切ですが・・・

課題が「解ける」ことは大前提！力をつける方法を変えてみる



今以上によくするためには、新たな授業改革が必要なのでは？

津田沼高校GP

日常の活動を分析する

たとえば、行事で不足している力は何か？

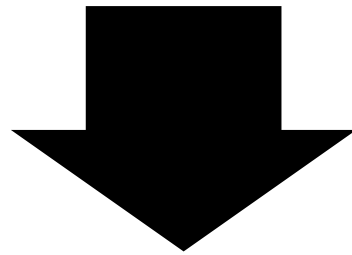
「発信力」と「自己肯定感」を高めなければ！

これを授業にどう取り入れるか。

ソーシャルスキルトレーニング (SST) の活用など

津田沼高校GP

- ① 知識を共有する活動（グループ活動・対話活動） **傾聴力、想像力**
- ② 自分の考えをわかりやすく伝える活動（プレゼン活動） **発信力、企画・実践力**
- ③ 深い思考へと誘う活動（クリエイティブ活動・課題検討） **思考・判断力、創造力**
- ④ 評価する（自己評価・他者評価） **情報収集力、分析力**



すべての活動を通じて、**「自己肯定感」**を高める！

津田沼高校GP

8つの力がバランス良く身につけば

ポジティブな行動が多くなる。

自主的に考えて行動できる。

失敗してもくじけずもう一度チャレンジする。

失敗しても冷静に「なぜ？」を考える。

将来を「想像」して「創造」していくことができる。

自分だけでは困難と判断したとき、仲間と協働できる。

自己肯定感が高まり

未来を生き抜いていく力となる！

津田沼高校GP

「どうせ」 ということばを
使わない生徒を育てていく

津田沼spirits

教育活動すべてを津田沼高校GPへ繋ぎ、そして未来へ

未来を生き抜く力

大学・社会での学び

高校3年間でつける力

津田沼高校GP

自己肯定感

教科活動

学校行事

諸活動

家庭教育

入学までに培った力